

大豆情報

(第1号)

平成28年3月30日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

～「売れる大豆づくり」を基本に、高品質で安全安心なあおば大豆の生産をしよう。～

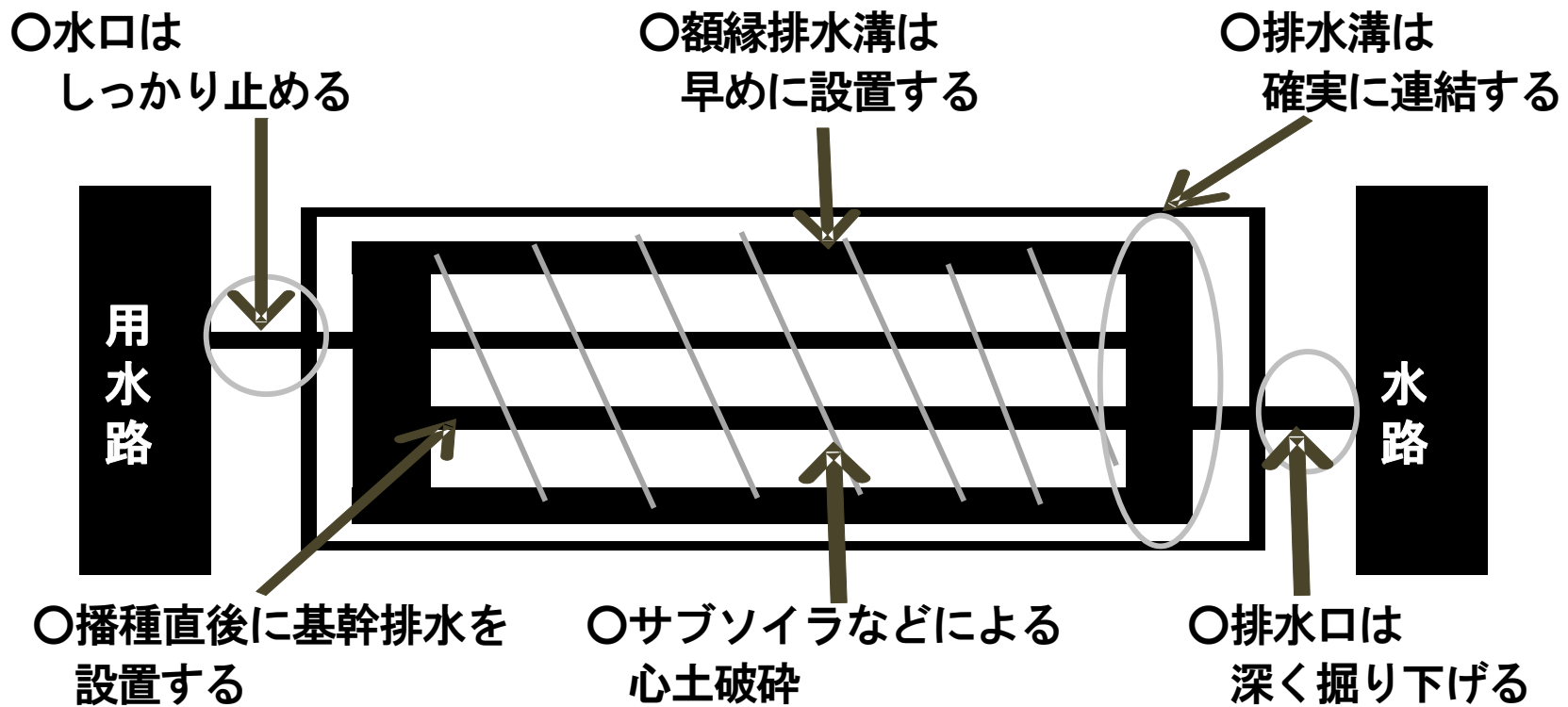
1. 実需者ニーズに対応した高品質大豆の安定生産 ⇒ 10a 当たり収量 200kg 以上
⇒ 大粒比率の向上
2. 効率的な生産体制の整備 ⇒ 水田の有効活用による作付面積拡大
3. 「安全・安心な」大豆生産 ⇒ 「とやまGAP」の実施及び生産履歴記帳 100%

《重点対策》

- ・ 4 月中に額縁排水溝を設置し、圃場を乾かしましょう。
- ・ 透水性の悪い圃場では、圃場が乾いた状態で心土破碎を実施しましょう。
- ・ 大豆は酸性土壌を嫌うので、必ず苦土石灰を散布しましょう。

丁寧な「耕耘・碎土・整地」で「出芽・苗立・除草剤の効き」に差がつく！

1.排水対策



2.土づくり

～圃場の土は、どんな土ですか？～

- pH6.0～6.5 になるように苦土石灰を、100kg～200kg/10a 必ず散布する。
- 地力増進のため、堆肥や発酵鶏糞等を施用する。

<10a 当たり施用基準>

	資材・肥料名	一般田	赤土 客土田
土壌改良 資材	苦土石灰(粒)	100～200kg	
	粒状ようりん	—	20～40kg
堆肥	牛ふん堆肥、豚ふん堆肥、籾殻堆肥	1～2t	
	発酵鶏糞	100～200kg	

とやま GAP (富山県適正農業規範) に基づき、安全に作業しましょう。